



共同通信社原稿用紙

20 x 10

白いといふほど白くもありません。然しい
 の花びらも赤いといふほど赤くも厚く
 こつとみだした。櫻の花はしやうが。梅
 にみ小枝にみ花がミツツリせり合はし
 れがまた花ばかりです。枝といふ枝は
 くれぬ見上げやうぶ大木木ぶす。そ
 かまつさおびさ下の花が咲いてみした
 といだが知らぬいんてすめとにかく空
 花のとくさかふくと夏
 坪田讓治
 作
 えか
 12月



特信新年存稿

12月8日

川下谷



(2)



にお

あ

にお

した。
 と
 白です。
 とい
 ウツトリ
 夢
 も見
 とうに
 あり
 ま

ざ
 へ鳥
 が
 とん
 で
 来
 ま
 し
 た。
 こ
 れ
 が
 鳳
 凰
 と

い
 ぶ
 鳥
 です。
 か
 ら
 だ
 は
 真
 白
 です。
 が
 尾
 の
 色
 は

金
 色
 です。
 そ
 れ
 は
 長
 く
 後
 に
 垂
 れ
 鳳
 凰
 の
 と

ぶ
 に
 つ
 れ
 ヒ
 ラ
 ヒ
 ラ
 空
 を
 ま
 う
 の
 で
 した。
 そ
 の

鳥
 が
 そ
 の
 花
 の
 木
 の
 枝
 に
 下
 り
 て
 来
 て
 と
 ま
 り
 ま

した。

と
 ニ
 ろ
 で
 そ
 の
 花
 の
 木
 の
 下
 ば
 五
 一
 す
 じ
 の
 川

共同通信社原稿用紙

20 x 10



(3)

が流れておりました。幅は三メートル。深さは
 一メートル。あふれる水が、花の木と草の
 枝の鳳凰をうつして、ゆっくり流れてみるの
 でした。見てみると、いとしい山のは、私では
 ありません。鳳凰が花の中から見てみたので
 す。川の川の水の上に、ヨツコリ、真が頭を
 のぞけました。

ホウオウ

真は言う言いました。

え

共同通信社原稿用紙

20 x 10



(4)

鳳凰はおどろきおした。サカナがうんちを
 とま云ふおんて今連さいたニともおかつ
 たのです。だから鳳凰は首をかしげました
 とまた、奥が水から千ヨツト頭を出して
 呼びました。
 「ホウオウッ」
 「ハイ」
 鳳凰はついさう言ってしまいました。
 「こへやって来いよ」
 サカナがさう言いました。

共同通信社原稿用紙



(カ)

美しい 絵の 空を 静かに 舞って 見せました。
 鳳凰は 言うて バタバタ 飛びまわって
 ホッホ 水は 泳げない けど 空が とべます
 サカナは 言ふのでした。 水も 泳げないで います。
 私の サカナに 会い ました。 だけども 私か バカ なんです。
 かう

共同通信社原稿用紙



(7)

枝にとまると
 今度は何鳳凰が言いました
 オサカナさん
 空をとんでごうん
 ようし
 サカナが言いました
 言ったと思ひと
 ガバ
 大きき水音がしました
 鯉が一匹
 水が
 うはぬ上りました
 一メートルいぬ
 ハ十
 センチくらいです
 直ぐ下に水の中へおちま
 した
 「ホッ
 ホッ
 と入ませんね」





(4)

鳳凰が尖りました。サカサはもうはねませ
 んでした。木かう頭ものさげません。その時
 大急行で川を下って行く一匹の鯉が鳳凰
 の目にうつりました。勇しい鯉の姿でした。